

令和3年第1回公文書管理向上委員会 会議結果

開催日時：令和3年5月10日(月)

午後4時～午後5時5分

会 場：市役所本庁舎2階 第1特別会議室

事案担当：情報公開・文書管理課（内線3672）

[件 名] 令和3年度第1回公文書管理向上委員会について
[目 的] ・公文書管理向上委員会の設置に関する説明 ・令和3年度公文書監理計画の承認 ・公文書管理に関する自己点検の実施に関する説明
[事 案 の 概 要] 委員会の設置目的、令和3年度公文書監理計画、自己点検の実施について事務局から説明を行い、実施機関の統括文書管理者等の立場から委員の意見を伺うもの。 また、令和3年度公文書監理計画について承認をいただくもの。
[会 議 経 過] 奈良総務局長、内田公文書監理官の挨拶の後、議題について事務局である情報公開・文書管理課から説明を行った。
[意 見 等] 【議題2 公文書監理計画について】 ●「1 全職員を対象とした公文書の管理状況に関する自己点検の実施」について、対象外の職員として「小中学校に属する職員」とあるが、教職員のみなのか、あるいは小中学校に勤務する事務職員も含むのか。(杉野教育局長) ⇒文書管理のシステムが異なるため教職員と事務職員どちらも対象外としている。(湯田総括副主幹) ●「8 公文書管理向上委員会の運営」について、第3回の開催スケジュールが2月となっているが、同月に実施予定の相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審議会 公文書管理部会への報告とどちらが先に行われるのか。(杉野教育局長) ⇒公文書管理向上委員会を先に開催する。報告内容を委員会で確認後、公文書管理部会で報告する。(湯田総括副主幹) ●「3 局、執行機関等を指定して行う定期調査」について、実地調査は出先機関の場合は所属に出向いて実施するのか。(斉藤農業委員会事務局長) ⇒対象となる所属に出向いて実施する。(湯田総括副主幹) ●「1 全職員を対象とした公文書の管理状況に関する自己点検の実施」について、区の選挙管理委員会に属する職員については、区政策課にも属している。どちらの所属として回答すればよいのか明記してほしい。(大島中央区選挙管理委員会事務局長)

【議題3 自己点検チェックの実施について】

- 自己点検を目的として実施するとなっているが、このアンケートに回答するだけでは自己点検にならないように感じる。(畑緑区選挙管理委員会事務局長)
⇒回答を選択する中で、どの選択肢が正しいかを考え、場合によっては所属内で相談等をして、自己点検に繋げることを想定している。(湯田総括副主幹)
- 「チェックリスト」という名称は、正しい例を提示してそれに対してできているか、できていないかを問う印象を受ける。現在の内容は「アンケート」に近いのではないか。(川村監査委員事務局長)
⇒名称については検討する。(湯田総括副主幹)
- 一般職員用の設問1について、自身が主催者側か参加者側かで回答が変わってくる。どちらの立場で回答すればよいか明確にしてほしい。(川村監査委員事務局長)
⇒設問文及び選択肢について、どの立場として会議に出席した場合について回答すればよいかわかるように修正する。(湯田総括副主幹)
- 一般職員用の設問1について、【作成状況】の選択肢「B口頭で会議の内容を所属長等に報告している。」は、【報告方法】に該当するものではないか。(川村監査委員事務局長)
⇒設問の修正を行う。(湯田総括副主幹)
- どの選択肢も該当しない場合を想定して、その他自由記述欄を作成したほうが良いのではないか。(川村監査委員事務局長)
⇒回答者の負担、事務局の集計作業の負担を考えると、自由記述式は含めず年度は実施したい。今年度の状況をみて来年度以降は設問について検討していきたい。(湯田総括副主幹)
- 回答の対象とする時期について、現在なのか、過去すべてを対象とするのかわからないため、明確にしてほしい。(杉野教育局長)
- 班長は文書を作成する側、決裁をする側どちらでもある。この場合、「一般職員用」「所属長用」のどちらを回答すればよいのか。(杉野教育局長)
⇒「一般職員用」で回答する。「所属長用」については、公文書管理規則等に定める、所属全体の公文書管理に関する統括について意識してほしいという目的もあるため、課長等(所属長)に対象を限定している。(湯田総括副主幹)
- 班長はいずれ所属長となる立場のため、意識づけという意味では班長も所属長用で回答してもよいと思う。(杉野教育局長)
⇒今年度については、班長は一般職員用としたい。来年度以降については検討する。(山口課長)
- 「所属長用」「一般職員用」という名称だけでは、自分がどちらに当てはまるかわかりづらい。アンケートの対象者例を明示してほしい。(川村監査委員事務局長)
- 回答のフィードバックが7月となると、正答を知るまでに期間が空きすぎているように感じる。(杉野教育局長)
⇒5月末に発行を予定している公文書管理ニュースに自己点検の正答を掲載する。(山口課長)

- 階層別研修では、自己点検の設問内容に関連した内容を取り扱うのか。(鈴木議会局長)
⇒階層別研修では、できる限り関連した内容を取り扱うようにしていきたい。(湯田総括副主幹)
- 会議録の作成の負担軽減のため、I Cレコーダーで録音したものを文章化できる機器の導入を検討してほしい。(鈴木議会局長)
⇒昨年度からD X推進課と調整している。今後も調整を進めていきたい。(奈良総務局長)
- 調査結果の公表については、どのような手段を検討しているのか。(内田公文書監理官)
⇒ホームページ等での公表を予定している。(湯田総括副主幹)

全ての説明及び質疑応答終了後、奈良総務局長から以下のとおり総括があった。

- 自己点検の2種類のチェックリストについて、どの職位が対象となるかそれぞれ明示すること。
- 一般職員用のチェックリストについて、設問1の選択肢B等について見直しを行うこと。
- チェックリストの名称について見直しを行うこと。
- 今年度は承認いただいた計画に沿って取組を進め、来年度の実施に当たっては、今年度の実施状況を踏まえて、修正を加えていきたい。
- 監理計画について、修正点があった場合はメールで各委員にお知らせする。

[結果] 令和3年度公文書監理計画について、案のとおり承認された。

自己点検の実施については、意見を踏まえて修正の上実施する。

[出席者	奈良総務局長	杉野教育局長	大貫市選挙管理 委員会事務局長	畑緑区選挙管理 委員会事務局長
	大島	阿部	鈴木人事委員会 事務局長	川村監査委員 事務局長
	中央区選挙管理 委員会事務局長	南区選挙管理 委員会事務局長		
	斉藤農業委員会 事務局長	鈴木議会局長	並木税制課長	内田 公文書監理官
	情報公開・ 文書管理課 山口課長			
	湯田総括副主幹			
	伊東主事			